

放送大学福井学習センター 公開シンポジウム「恐竜 DX」

日時：令和4年10月2日（日） 10:30～14:00

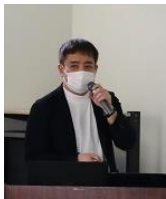
場所：ふくい県民活動・ボランティアセンター 706・707号室

パネラー：芝原 暁彦氏 地球科学可視化技術研究所 所長
西 弘嗣氏 福井県立大学恐竜学研究所 所長
植田 和貴氏 (株)NHKエンタープライズ シニアプロデューサー
荒木 一成氏 古生物造成作家
河部 壮一郎氏 福井県立大学恐竜学研究所 准教授
今井 拓也氏 福井県立大学恐竜学研究所 助教
〈コーディネーター〉
柴田 正輝氏 放送大学福井学習センター客員教員
／福井県立大学恐竜学研究所 准教授



今、さまざまな業種・分野でDX（デジタル・トランスフォーメーション）の取り組みが始まっています。DXは社会的課題を解決したり人を豊かにする変革をもたらすと考えられています。今回のシンポジウムは、多くの人に関心を持つ「恐竜」を通して、DXへの理解促進を図ることを目的に開催しました。

シンポジウムの前半では、パネラーがそれぞれの分野（題目）でDXの活用状況や将来の展望、DXとアナログの共生などについて講話をしていただきました。後半では、参加者からの多くの質問に回答していただき、DXとその可能性、将来性について理解が深まり、有意義なシンポジウムとなりました。



芝原 暁彦氏



〔最新 DX の基本と地球科学〕



西 弘嗣先生



〔デジタル観光〕



河部壮一郎先生



今井 拓哉先生



植田 和貴氏



〔恐竜デジタル技術で復元する〕



荒木 一成氏



〔アナログで創るということ〕



〔デジタル古生物データの活用〕
いまとこれから

《質疑応答》



<参加された方々の感想>

- ・新しい分野であり、聞いていて面白かった。デジタル技術によって過去の地球の成り立ちや恐竜の生態等を表すことができるのが素晴らしい。
- ・古生物という切り口から、アナログとデジタルを組み合わせながら研究されていることを今回初めて知りました。また、研究だけでなく DX をするのではなく、デジタル技術を活用したアウトプット、普及・啓発にも取り組まれていることがとても印象に残りました。
- ・「恐竜 DX」の現状や可能性について理解ができ、大変参考になりました。
- ・今回のシンポジウムで恐竜 DX とはということなのか。なんとなくわかったような気がします。一恐竜ファンとして、今以上に恐竜を知ることができるようになると嬉しく思いました。